東京薬科大学新聞
発行所
東京薬科大学
学生新聞
八王子市堀之内
1432－1
☎0426(76)5111
6月号

6/30, 前期定例学生大会！

積極的な参加を

6月30日に前期学生大会が開かれる。過去の学生大会を振り返って、問題点とその原因を深り、今一度学生大会の意義について考えてみたい。

例年の学生大会は、執行委員会の議案についての説明に多くの時間を費やしてしまい、討議までなかなか進展していかなかった。これは、執行委員会としても憂いていることであるが、原因は学生の多くが議案内容についてて十分な知識がないままに大会に望むことにある。要するに、学生間の消極的な姿勢がネックになっているのである。学生の消極性は大会の出席者の少なさに如実に表われている。出席者数は八六七。委任状六六五でなんとか定足数一〇一五を満たしている状態である。自治会規約によって、大会の必要事項は一週間前に公示されることになっている。学生は少なくとも議案書に目を通して議案について各人考えておくべきだろう。同時に執行委員会側には、明確な公示を期待する。

昨年の議案書を見ると、駐車場、学費、多摩センターバスの問題などと、学生生活に密着した内容が盛り込まれている。だが、これらの議案に対しても一般学生は冷淡で、一部の人の間で質議が行われているありさまだった。平穏無事に過ぎている東薬であるから学生の感覚も鈍ってしまっているのだろうか。めんどうな問題は人まかせという現代の若者の風潮が東薬にも顕著に見られるように思う。自分に問題がふりかかってきた時に一人であわててもしかたがない。「学生大会は最高議決機関であり執行委員長がこれを招集する」とこれが学生大会の意義である。一人で解決できないことも、全学生で取り組めば解決できるかもしれない。新たな問題意識を持ち、進んで学生の自治に参加して行く度切りに学生大会に出るべきであろう。

お知らせ

学内展のお知らせ
6月10日より、文化部門の第一回学内展が行なわれている。

○書道同好会
6/17～6/23

○やきものクラブ
6/24～6/31

○写真部
7/1～7/7

○華道部
7/8～7/14

○美術部校外展
6/21～6/27
渋谷の公園通り画廊（パルコの斜め向い）

○合唱団
6/26 6:40～
調布市市民福祉会館（屋根の上のバイオリン弾き）

○軽音楽部
6/26 111教室において月例会を行います。

クラブ名物
女子バスケ編

女子バスケ部の優勝の原動力、名物マネージャー松嶋真樹さんは自分では、おしとやかと言っていますが、内うきん以外の何者でもないと言われている。この方、一見の価値あり、とのことです。仕事内容は忍耐と苦労の連続とか。それもこれもバスケ部を優勝に導くためと、コーチの怒りを抑える役目もしたりして、クラブ内のマスコット的存在。今クラブの雰囲気は最高で、他のクラブとも「友好を深めていきたい」ということです。失敗談が豊富な彼女、この間もOBの結婚式の祝電の宛名を間違えたとか。今一番欲しい物は、という質問に、車、板張りの体育館、男？、そしてもちろん新入部員、今からでもどしどし入って欲しいと言うことです。

こんな面白いお姉様のいるクラブ、入ってみてはいかがですか。

◇女子バスケット部
関東医歯薬連において、新チームの初試合であったにもかかわらず、二年連続三回目の優勝を果たした。これからの活躍がますます期待される。

◇軟式テニス部
関東理工科系大学軟式庭球のリーグ戦（女子一部）において

体育 すこあーぶっく
"女子バスケット部優勝"

は三位、選手権大会においては、加藤、安倍組が三位を獲得した。

◇サッカー部
関東医歯薬獣春季リーグ戦（一部）において、現在4勝1敗で、優勝する可能性が高い。尚、6/20に対昭和大、6/27に対千葉大の試合が行なわれる予定。

◇バトミントン部
春季薬学リーグ戦が行なわれているが、現在、女子部は3勝0敗、男子部はA チーム4勝0敗、尚引き続いて6/20、6/29に試合が行なわれる。

薬味

最近雨の日が多くなってきた。また、梅雨の季節かと思うと私はうんざりしてしまう。というのも、雨もさることながらやっかいなのはカエルである。私のアパートの周辺は日没と同時にカエルの大合唱で、その騒々しさといったら例がない。もっとも近ごろは慣れてしまい静かだとかえって地震が来るんじゃないかと心配したりして。

学内では、自販機、キャッシュサービス（後日、号外で特集の予定）と学生にとって利用価値の高いものができる予定である。管理に関してはまだはっきり決まっていないが、今後問題になるとすれば、学生の使い方であろう。公共物に対してのモラルのなさは日本人特有のものかもしれないが、クリーンキャンパスを心掛けて、大事に使っていかなければならないのではないだろうか。

450円旅行!? 旅同好会

六月五日、旅同好会初の試みとして新宿→八王子450円旅行を行った。450円以内で八王子を出発し、新宿で新宿に行ったという証明を持って帰ってくる、という旅行で、所要時間を競った。ちなみに京王八王子→新宿間260円だから往復京王線を使っても450円では帰ってこれない。

不正は絶対に許されない条件で部員は男女ペアで京王八王子駅前を出発した。ここに部員のたどったコースを紹介しよう。あるペアは往復京王線を使うことを計画し、足りない70円を稼ごうと、まずパチンコ屋に向かった。しかしパチンコは400円ぽっちの金で稼ぐものではない。結局そこでリタイアであった。新宿アルタの周辺で質屋を捜したペアもいたが、なんと教習所の送迎バスを利用したペアもいた。

さて、優勝したペアは女性にあぶれた男二人組だが、京王線を使って分倍河原まで戻り、金の足りなかった区間をただひたすらに走ったそうである。途中でめげそうになった所で思いついたのがヒッチハイク。男二人にして、一発で成功し、タイムは2時間50分であった。

一番安く行く方法は、国鉄の規則にある「近郊区間内では、最少区間の料金で乗車できる」というのを利用すればよいのだ。例えば八王子から横浜に行き、山手線と中央線で八王子に帰ってくる、というコースがある。もっともこれでいくと、少なくともある時間はかかってしまうが。

たまには時間のある時、こんな旅行をしてみては いかが。

八王子食べ歩き

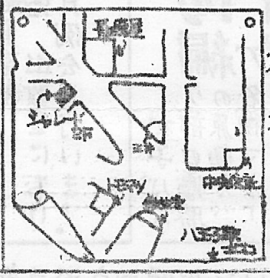
愛の結晶にエメラルドの瞳!!

最近は女性だけでなく男性の間でもパフェの人気が上昇している。そこで、10種類のオリジナルパフェがあるコシャレード「シャレード」を訪ねた。

この「シャレード」という店は、国鉄八王子駅から徒歩約3分、長崎屋の向かいにある。お薦め品は、何と言っても凝った名前のパフェ。片思い、愛の結晶、エメラルドの瞳、小憩、秘恋、甘い誘惑、恋の館など、様々な工夫をしたパフェが見られる。

それぞれの思いをこめて、味わってみてはいかが。

その他、サンドイッチ50種、セットメニュー150種など、豊富なメニューを取り揃えている。



映画紹介 鬼龍院花子の生涯

映画研究部

この映画を見て一番感じられることは、有名俳優、女優陣の中においての、夏目雅子の存在感の大きさと演技力の進歩である。とても数年前のカネボウのモデルとは思えない。岩下志麻と比べても、同等以上であった。夏目雅子演じる主人公の松恵へ参者のために書いた「松恵」と、華やかな「花子」とを対比し、それを取りまくたくさんの生きざまを描いている。カメラアングルは全体的に、表情を写すアップが弱く全体的に見て、役者揃いのオールスター戦のような映画であった。

このような顔をしているのだが、この子もとても光っている。

全体的にストーリーを見ると、鬼政こと仲代達也を中心に、しいたげられて育った「松恵」と、「花子」とを対比し、それを取りまくたくさんの生きざまを描いている。

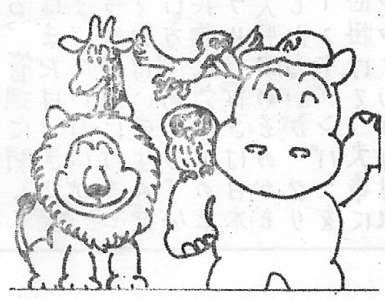
ブックコーナー 動物賛歌 西山登志雄

新潮文庫

動物園というと親みなさん子供の頃、親につれられて行った思い出があると思います。そんじょそこらでは、お目にかかれない動物たちと接することができたのではないでしょうか。しかし手軽に動物に接することのできる動物園、見物する人間はよいのですが、人間のエゴでオリの中に閉じこめられた動物たちは、毎日はるかかなたの故郷を夢みているのかもしれません。

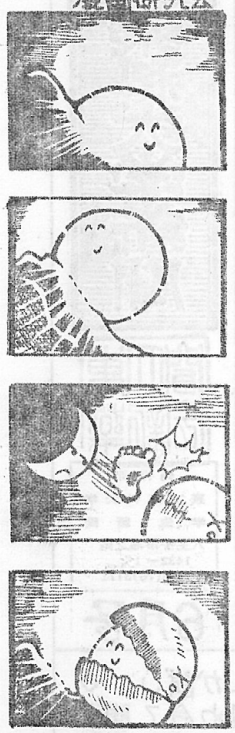
著者、西山登志雄さんは、こういう動物たちを心から愛していて、飼育係になり、動物たちと体当りで接してきた名物園長です。長年動物たちと暮らしてきた経験を生かして動物たちからのメッセージを通訳します。著者が動物賛歌を上野動物園時代から、現在の東武動物園長時代まで接してきた動物たちの性格や習性、また著者の感動したことを、ユーモラスな写真とぶっきらぼうだが愛情の満ちた文章でつづった傑作です。

あなたはページをめくるごとに笑い、そして感動するでしょう。



4コママンガ

漫画研究会



伝医研

食物があたったりして吐きそうで吐けない時、多量の塩をぬるま湯に溶かして飲めばまず○K。

塩の漢方での兼理作用は、胃腎大腸に働き、清熱、涼血、解毒の効があり、多食による消化不良、二便不通、喉痛、歯痛、おできなどに用いられる。（ただし、むくみのある場合には用いられる。）

クラブ訪問日誌

貫実剛健 ラグビー部

ラグビー部の練習を見てきました。私が行った時は、ランニングの後で柔軟運動をしているところでした。「うわ、きびしいなあ」と思っていたら、練習日を聞いてもっと驚いてしまいました。火～土曜日の放課後が毎日で、日曜日が試合だそうです。

みんながまたランニングに行っている間、四年生の方にお話をうかがってみました。

☆ラグビー部のモットーは？

「貫実剛健ですね。」

☆コンパはどんなことをしますか。

「は、は、は。まあ、とにかくラグビー部のモットーが、貫実剛健ですから……。そんな感じです。」

☆今年の一年生はどうですか。

「みんな初心者のわりには、よくやっていると思いますよ。」

☆えっ、みなさん初心者なんですか。

「ええ。今年は、一人だけ違いますが、毎年そんなもんですよ。」

へえ、すごいんだなあ。

☆それでは最後に一言。

「今年は絶対に一部に復帰しますので、どうぞ御期待下さい。」

とても、力強いお言葉でした。みなさんも、応援、よろしくお願いします。

（僕はラグビー部です）

オス！ 空手道部

昼休み、グランドのそばで空手着を着た部員が独特な練習を行なっている。東薬生であれば誰もが、その光景を見たことがあるだろう。近寄り難い、何とも言えない雰囲気が漂っている。

そんな空手道部を、今回訪問してみた。活動内容は月曜日から金曜日まで昼休みに四十分、土曜日は一時三十分から三時三十分まで基本を主に、組み手などをやっているそうだ。当面の目標はやはり医歯薬連合優勝だそうだ。

「空手道部の特徴は何だと思いますか」との質問に対して一言。

「礼儀ですよ」と返ってきたあたり、さすが空手道部、と思った。先輩は厳格を持ち、後輩はそれに従うべきだという強い信念を持っている。次に、一年生にクラブの率直な感想を聞いてみた。彼曰く、「礼儀はきびしいが、先輩はとても良く面倒を見てくれるということだ。

ところであの空手着には何か秘密が隠されているのだろうか。それを着ている人から、なぜか威厳が感じられるから不思議である。今回の訪問で空手道の厳しさを、少しだが、感じ取ることが出来たような気がする。

クラブらしいクラブ 女子卓球部

この頃、目覚しい活躍をしている女子卓球部に突撃訪問を試みてみました。

毎日が充実した練習で満たされているのが印象的と言うか、このクラブの特徴でもあります。（週四回、なんと自主練は夜の八時頃までやる時もあるそうです。）

部員数においては他の薬科大と比べようもないほど多いのですが、チームワークと雰囲気は抜群で、クラブらしいクラブと自負しているそうです。

今年の新入部員は、素質があると先輩方も喜んでいる様で、後輩達も日夜練習にはげんでいるそうです。しかし最近では疲れがどっとでてきて、帰って寝ることが一番の楽しみとか……。たまには先輩におごってもらってスタミナをつけたいという声も聞かれました。

最近のクラブの良い事と言えば、突習後でもみんな顔を出してくれる事。（これもやっぱり大切な事なのでしょうね。）卓球というと何か暗いイメージを感じさせるスポーツと思われているのが不満だそうで、皆さんの認識を改めてもらいたいとのことです。

今年の目標としては、全員参加の全日本薬連に好成績を修め、秋の学連で優勝して、念願の三部に上がるということだそうです。

先輩、後輩が一致団結している卓球部、是非とも念願を達成してもらいたいものです。

僕を語る 天才

あれは絵画会議の真最中だった。井上陽水の曲が聞こえてきた。陽水ファンである僕の体は揺れ、思わず鼻歌が出てしまった。その為新聞会にいづらくなってしまい、そのとき僕は思った。「美術部が悪いんだ。エラン。よし、美術の実態をあばいてやろう！」

美術部は年4回の展示会を開催している。そのためには、3ケ月に一枚以上のペースで絵を描かねばならないのだが、合宿の時以外は、自宅または下宿で描かねばならない状況である。その為、初心者も多い一年生は合宿までは不安な気持ちを持っているのではないだろうか。

ところが、一年生に対しては、何の技術指導もしていないそうだ。

しかし、芸術において個性は命である。たとえ技術があっても、その人自身の個性が全くなかったならば、その芸術は死んでしまって、言えることのないものになってしまう。そのことを考えると、美術部の方針は理にかなったものなのかもしれない。

部長さんから校外展のお知らせです。

去年までは八王子でやっていたのですが、今年は渋谷でやることになりました。会場が少々小さいため、絵の大きさに制限をせざるを得ず、その点少々心苦しいのですが、それなりに力作ぞろい(?)なので、ぜひ見に来てください。よろしゅうおたのみ申します。

ガン研究 ―生研―

「生研」の名で知られる生化学研究部は、現在、一年生三十五名、二年生十五名、三年生十四名、計七十四名の大所帯である。人数が多いという点で、なにかと支障が起こりそうであるが、なかなかゆかな雰囲気で、部員一人一人皆楽しそうに活動しているようだ。

学術部門というとでその活動内容はゼミ中心になっているが、各人しっかりとした目的意識を持っており、その成果には目をひくものがあると言えよう。

先日、催された学術発表会では、春実習の研究内容報告であり、夏実習へのアプローチでもある抗ガン剤ら下しによる正常ラットへの影響なるものを発表し、今までのガンそのものの研究から新たな観点として、"ガンの治療"について飯れてみたということである。生研自体もこれによって今後へのメドがついたらしく、夏実習に向けてのゼミも一段と活気を増していくのではないだろうか。

又、薬祭では、夏実習の研究結果を報告すると共に少しでも多くの人にガンについて理解してほしいということであった。

現在、生研では毎週水曜と土曜に行なわれるゼミを重視することから原則として兼部を認めていない。又ゼミ内容は、生化学の授業に直結した点もあるため、後々役に立つという。以上の点から生研とは研究熱心で、かつ、まとまりのある素晴らしいクラブということになるようだ。

半端なし 植研

部室棟三階、一番奥に位置する植物研究部を訪問した。

現在部員は三年十一名、二年十二名、一年八名。活動は水曜と土曜。昼休みにも週二回くらいは集まる。主に植物の形態について研究を進めているそうだが、今は夏の合宿の計画に熱が入っている様だ。今年のテーマは"高山植物"で、南アルプスの北岳でその形態を中心に植生調査を行うそうだ。

すべての研究は植物の採集から始まるから"頭脳より体力"で、実行力には自信があるらしい。台風でも出かけて行ったことがあるというから相当なものである。

Let's Speak English ESS

英語と聞いただけで、しり込みしてしまう人はいませんか。かくいう私もそうなのですが、今や"薬学部だから英語ニガテだもーん"などと言ってはいられない時代です。ちまたでは、英会話教室、カセットが氾濫し、まさに Let's speak English なのです。そこで今日は東薬の「英語大好き少年少女」がそろっていそうなヒトラを訪問しました。

一時からの昼ゼミが少し遅れてスタートします。三年生が前に出て英文の発音方法を説明した後に、一年生に質問する形式で、私も指されたらどうしようと、どきどきしてしまいました。でも、こうした積み重ねが、英会話には大切なんでしょうね。

活動内容は、この、月・水・金の昼ゼミの他に、英検二級合格を目指すと共に会話に重点をおいて、水曜日には英検ゼミ、土曜日には外人講師を招いているということです。

「6年間、学んできた英語でも、いざとなると話せない。外人と一応の会話が出来るように頑張っています」と副部長さん。

薬祭では、みんなで協力して、英語劇をやったり、合宿のテニス大会など、まじめな中にも気楽な雰囲気の漂うヒトラでした。

みたい人は飲むが飲ませる事はしないそうだ。新入生は全体的におとなしくて、上級生は、もっと活発に、自主的に動いてほしいと言っている。また現在進められている組織培養の研究も期待される。

"楽しい中にも半端なし"一言で言うと、植研はこうなるそうだ。記者はこの雰囲気を十分に感じて取材を終えた。

ALL THAT JAZZ

どこからか、軽快な音楽が流れてくる。

四月の新入生歓迎コンサートに出演し評判のよかったJAZZ研究部の部室からである。

「本当にみんな音楽が好きだし楽器も好きなんです」と語るのは部長の河野さん。

「JAZZっていうと演奏するのが難しいように思えるけど他の音楽と少しも変わりません。音楽ってジャンルわけされているけれど、そう厳密ではないと思いますが」

JAZZのおもしろさは、"スリルのあるところ"という声も。

部員数十二人の少人数ではあるがそのためか、まとまりがある。そしてもちろん個性も十分生かされているようだ。

一年生に感想を聞いてみた。

JAZZは、はじめてだけど好きだから入部しました。東薬の中で一番雰囲気がよいし、落ち着いているし。

先輩と後輩の間も親密である。

昨年の東薬祭では、JAZZ喫茶を開いた。今年も、定期演奏会を催す予定。

気さくで楽しい人の集まりという感じを受けた。

なお、部員募集中、女の子大歓迎とのこと。

とびっくす

部室棟の管理

最近、部室棟の管理のずさんさが学校側から指摘されている。なるほど、湯沸かし器の電源が入りっぱなしになっているのを、しばしば見かける。さらに、情けないことに、部室内での盗難事件のうわさもちらほら聞かれる。さがせばもっと出てくるだろうし、当然、学生の間にも何か思いあたる人が少なからずいるはずだ。何も学校側からクレームがついたからと言って取りたてて改善を叫ぶわけではないのだが、今の管理体制が改められなければ、今以上に深刻な問題が持ち上がって来ることは必定である。部室棟の管理運営に対する具体的な対策を講ずる必要を感じると同時に、学生の自覚が何よりも大切ではないだろうか。

編集後記

今月は給つかのクラブを訪問しました。ご協力ありがとうございました。今後もヨロシク。